

《 本文書の対象となる方 》

2012年1月1日～2025年12月31日の間にニューモシスチス肺炎と当院で診断された方

課題名	ニューモシスチス肺炎の臨床経過に関する後ろ向き検討
承認番号	番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 呼吸器内科 氏名 恵島 将
研究期間	(西暦) 研究機関長による許可日 ～ (西暦) 2026年 12月まで
研究の意義・目的	ニューモシスチス肺炎は、日和見感染症の一種で、真菌(カビ)の「ニューモシスチス・イロベチイ」が原因で発症します。健康な人は感染しても発症しませんが、免疫力が低下した人が発症しやすく、免疫抑制薬や化学療法の発展に伴い発症が増えており、発症後に死亡に至ることもある重篤な疾患です。しかし、死亡を予測する評価基準が無いため、治療開始時期を逸することや、病状説明に死亡のリスクに踏み込んだ内容とするべきかの判断が困難な現状にあります。死亡を予測する評価基準を作成することで、早期の治療開始の決断や、病状説明を死亡のリスクに踏み込んだ内容とするべきかをより明確に判断できます。さらに、副腎皮質ステロイド薬が治療薬として用いられることが多いですが、投薬によりニューモシスチス肺炎の死亡率を下げることができるかは分かっていません。本研究で死亡の予測因子を調べ、死亡のスコアリングを作成し、さらに副腎皮質ステロイド薬の使用意義を検討することにより、治療や病状説明の一助になることが期待されます。
研究の方法 (対象期間含む)	対象期間：2012年1月1日～2025年12月31日まで 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月31日まで 方法：当院でニューモシスチス肺炎と診断治療した臨床データを電子カルテから抽出し解析します。対象年齢は18歳～99歳で入院外来を問いません。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	研究対象者の電子カルテに保存された臨床データを匿名化して Excel ファイルに保存して解析を行います(氏名等の特定の個人を識別できる情報を削除して、研究IDに置換します)。 また、過去に収集されたデータを用いますので、本研究に参加することで研究対象者に新たに負担が生じることはありません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	使用する電子カルテのデータは、診断時の身長、体重、年齢、性別、身体所見、臨床症状、治療内容、転帰、血液検査結果、胸部CT所見です。
試料・情報を 利用する者の範囲	横浜市立みなと赤十字病院 呼吸器内科 恵島 将
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 呼吸器内科 恵島 将
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 呼吸器内科 氏名 恵島 将

様式 5

	TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101
--	--